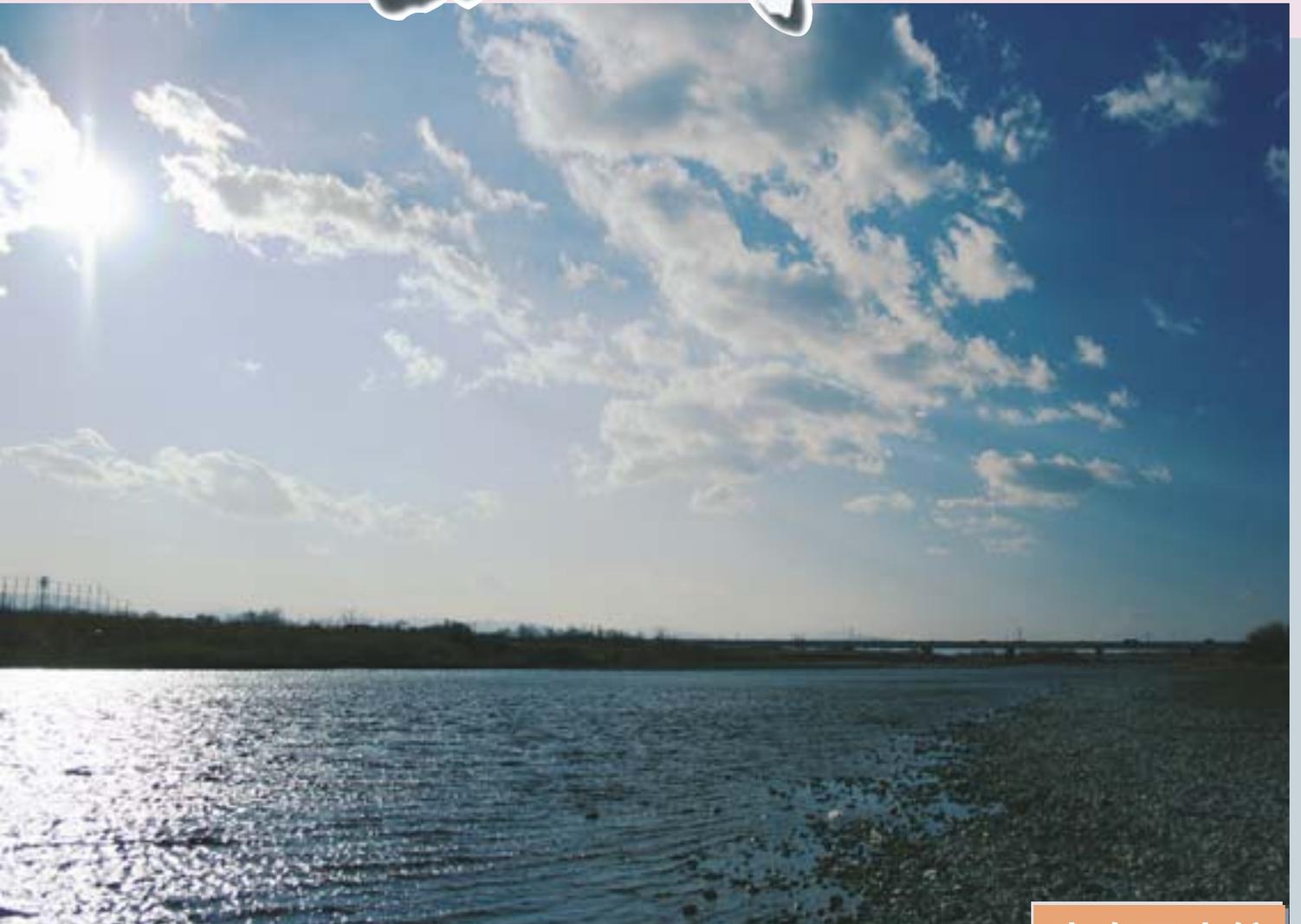


くまがや Kumagaya

平成19年 2007 4 第19号



光と雲と水と

科学技術学園高校3年 有馬 一生さん
(航空自衛隊 生徒隊)

撮影場所 荒川河川敷
撮影者コメント 荒川の流れと空の広大さに感動しました。

青春写真館

vol.3

市内高校写真部の作品を紹介します。

主な内容

P2~4 平成19年度の予算

5~9 市政ワイド
熊谷市議会議員選挙・熊谷教育の重点
民生委員・児童委員および主任児童委員の紹介

10 市政情報 安心便利な口座振替を
お勧めします ほか

16 暮らしの情報
催し・講習・募集・試験・スポーツ・相談

21 いきいき元気 みんなの健康

P24 文化施設情報

28 くまがや フォトニュース
・市報クイズ・おたよりパレット

30 くまがや東西南北
「あついぞ!熊谷」まちづくり事業

31 おかあさんといっしょ
ぐーチョコランタン小劇場 ほか

32 夢追い人・フレッシュクッキング

平成19年度の予算

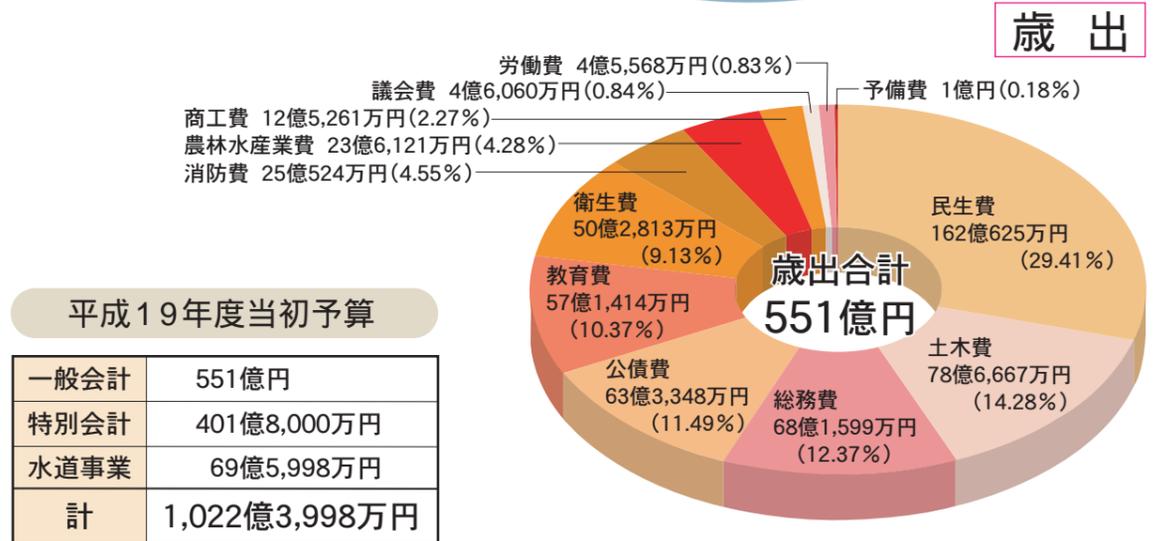
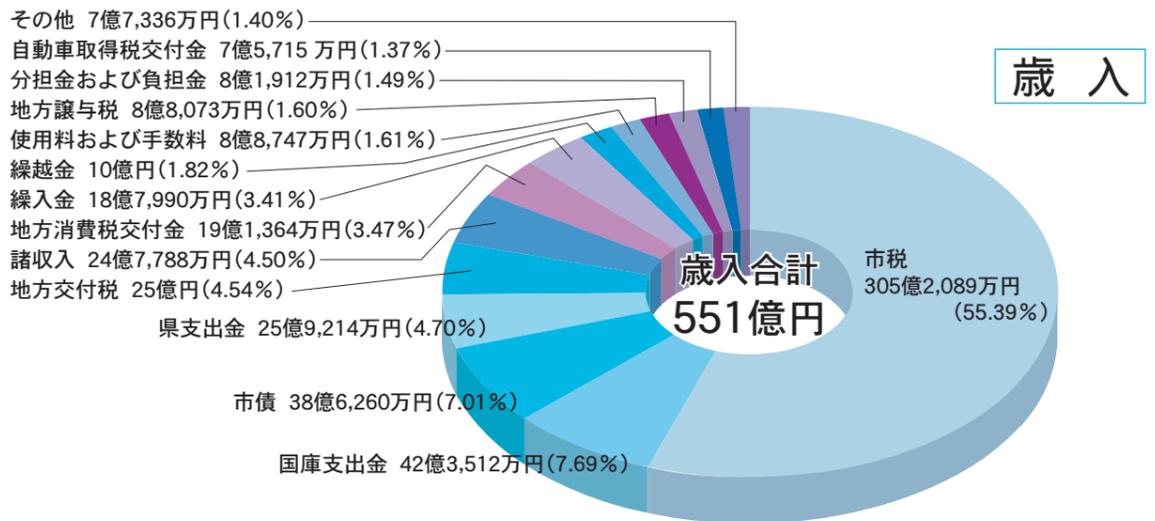


熊谷市長 富岡 清
本市は、2月13日に江南町と合併し、県北初の20万都市となりました。この合併によりまして、

て、熊谷市が従来から備えていた交通拠点性や経済、教育、文化の中心性、充実した都市基盤、大里・妻沼地域を中心とした農業生産に、江南地域の貴重な歴史文化資源や里山の自然の魅力が加わりました。それぞれの地域がもつ歴史や文化を始めとする特色ある様々な地域資源を生かすことにより地域の一体感を高め、熊谷市全体の融和が図れるよう努力してまいります。国と地方の行財政については、昨年12月に「地方分権改革推進法」が成立し、第二期地方分権改革に向けて動き出しました。このことにより、地方の自主性、自立性がさらに高まり、真の地方分権改革が実現するものと期待しております。

平成19年度当初予算は、古くから結びつきの強かったこの地域が新しい熊谷市となって初めての予算であり、それぞれの地域の特性を生かしたものでございます。私は、市民と行政の協働の理念の下、「誰もがチャレンジできる元気なまちに、誰にも優しいハートフルなまちに」するために、そして熊谷新時代を築くために情熱と誠意を持って、市政運営に取り組んでまいります。

平成19年度当初予算 一般会計551億円の内訳



平成19年度当初予算

一般会計	551億円
特別会計	401億8,000万円
水道事業	69億5,998万円
計	1,022億3,998万円

平成19年度の主な事業

()内は予算額

1 子育て環境・教育環境の充実

子育て支援事業

(2,200万円)
玉井小学校、太田小学校の余裕教室を改修して、児童クラブを設置します。



児童クラブの様子

江南北小学校屋内運動場 建築事業

(2億8,010万円)
奈良中学校屋内運動場 建築事業 (3億8,446万円)

江南北小学校と奈良中学校の屋内運動場を改築し、太陽光発電設備を設置します。

大麻生中学校屋内運動場 建築事業

(1,954万円)
屋内運動場の改築のための地質調査および設計調査を行います。

小・中学校図書館 設備整備事業

(8,870万円)
全ての小・中学校の図書館に空調設備を設置します。



ほほえみ相談員設置事業

(1,948万円)
全ての中学校にほほえみ相談員を配置し、健全な児童・生徒の育成を図ります。

2 安心なまち・安全なまちの創出

防災行政無線機能 整備事業

(3,610万円)
防災行政無線の運営形態を、熊谷局1箇所統合するとともに、全国瞬時警報システム(Jアラート)を設置します。

「あついで!熊谷」まちづくり事業に加え、新たに「2007年問題」に対応するため、団塊の世代の活動を支援する事業を推進します。

自動体外式除細動器 (AED) 設置事業

(2,320万円)
市有施設94箇所にAEDを設置します。



施設に掲示されるAEDマーク

河川防災ステーション 整備事業

(3,137万円)
玉作地内に防災ステーションとして、水防センターを設置します。

3 協働して参画する社会の創出

熊谷新時代 まちづくり事業

(464万円)
「あついで!熊谷」まちづくり事業に加え、新たに「2007年問題」に対応するため、団塊の世代の活動を支援する事業を推進します。

熊谷ブランド創造事業

(266万円)
かき氷「雪くま」を熊谷ブランドとして発信するとともに、それに続く地域ブランドを創造します。

4 健康・福祉のまちの創出

別府沼公園整備事業

(3,600万円)
別府沼公園内の多目的広場やショウブ園の外周をウォーキングやジョギングができるコースとして整備します。



別府沼公園

5 環境を大切にすまの創出

天然ガス自動車導入 促進事業

(1,192万円)
環境に対する啓発を図るため天然ガス車6台を導入します。



天然ガス自動車

太陽光発電照明灯 設置事業

(1,800万円)
全ての小学校に環境教育推進用の太陽光発電照明灯を設置します。

住宅用太陽光発電システム普及促進事業 (1,200万円)
住宅用太陽光発電システムの設置に対して、1キロワットあたり5万円、上限20万円の補助金を交付します。

4月1日、石川助役が初代副市長に就任



改正地方自治法により新設された副市長制度の初代副市長に、石川雅昭助役が就任しました。

江南地域審議会の委員を募集します



合併前の江南町の区域に、江南地域審議会を設置します。

地域審議会は、現在、熊谷、大里および妻沼の地域にも設置されており、江南地域審議会は、合併前の熊谷市と江南町の協議により設置されるもので、市の施策に関して市長から諮問を受け、または必要に応じて市長に対して意見を述べるができる機関です。

地域審議会の委員は、15人以内となっており、うち3人以内を公募により選任することとなっています。

応募資格 現在、旧江南町の区域に住所を有し、20歳以上の方で、引き続き旧江南町の区域に居住し続ける方

任期 委嘱の日から2年間

募集人員 3人

会議 年2回程度、平日(予定)

応募方法 「まちづくりについての考えおよび応募理由」を800字以内にまとめたものに、住所・氏名・生年月日・性別・電話番号を記入し、企画課にお持ちになるか郵送してください。

審査 委員は、審査により決定することとし、審査結果は、応募された方全員にお知らせします。

応募期限 4月27日(金)

◆企画課 ④内線228
〒360-8601 宮町2丁目47-1

6 ブランド力のある元気な産業の育成

企業誘致促進事業

(6,094万円)

産業の振興、雇用機会の創出および拡大を図るため、工場などの企業誘致を促進します。

産地づくり対策事業

(1,138万円)

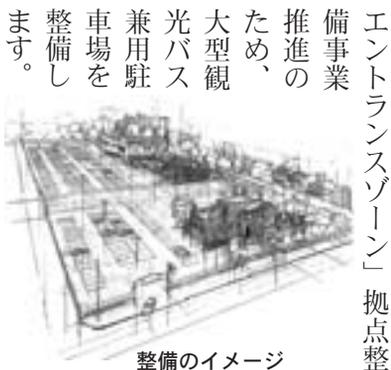
くまがや米のブランド化を図るため、水稻種子の購入を助成するとともに、「安全・安心・新鮮な」農産物の供給体制を確立する産地消費運動を推進します。

妻沼中心市街地

観光整備事業

(2,440万円)

妻沼地区「中心市街地南側



整備のイメージ

7 生活しやすい都市機能の充実

第2北大通線

道路改良事業

(6,408万円)

メモリアル彩雲(南)から東武熊谷線跡地までの区間の用地取得、物件調査などを行います。

年代八ッ口線

道路改良事業

(1億8,600万円)

国道407号から東武熊谷線跡地までの区間の用地取得、物件調査などを行います。

市道大里55号線

道路改良事業

(5,718万円)

津田新田内の用地取得、道路改良工事などを行います。

江南総合公園整備事業

(3億2,689万円)

公園北側部分の多目的広場、芝生広場、駐車場などの整備を行います。

鍛冶御堂橋整備事業

(2,500万円)

妻沼西部工業団地と南側の

地区を結ぶ鍛冶御堂橋の上部工工事を行います。

幹線第3号線道路改良事業

(2,000万円)

熊谷運動公園北側から籠原中央第二土地区画整理区域に至る延長約1.5kmの区間の調査測量、予備設計を行います。

和田吉野川橋りょう等

整備負担事業

(8,699万円)

埼玉県が実施する河川改修事業に伴う橋りょう架設および道路改良に係る経費を負担します。

籠原駅バリアフリー化

(7,600万円)

JR籠原駅の上下線ホームに、エレベータを設置し、障

害者も利用できる多機能トイレを整備します。

8 自立した地方自治のための行政改革の推進

総合振興計画策定事業

(385万円)

総合的かつ計画的な行政の運営を図るための「熊谷市総合振興計画」を策定します。

9 水道事業の推進

老朽管更新事業

(13億589万円)

安全で安心な水道水の安定供給と有収率の向上を図るため、配水管改良工事を実施します。

◆財政課 ④内線240